

新ひだか町 令和3年度 アイヌ政策推進交付金事業計画 変更内訳

1. 今回の変更事業

- (3) コミュニティ活動支援事業
アイヌ文化拠点空間整備事業

2. 変更内容（2年度事業分）

- (3) コミュニティ活動支援事業
アイヌ文化拠点空間整備事業のうち、シベチャリチャシ跡環境整備
現地調査の結果から、工法を変更することによる事業費の増。

3. 変更増減額（2年度事業分）

- (3) コミュニティ活動支援事業
アイヌ文化拠点空間整備事業
事業費 7,662千円の増（38,923千円 → 46,585千円）

4. 事業計画変更箇所

「8 収支予算」、「9 経費の配分」及び「別表1 収支計画書」及び「別表5 資金計画」において、上記3の変更増額に係る令和3年度の事業費等必要な金額の修正を行う。

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	新ひだか町アイヌ政策推進事業
2 事業の種類	文化振興事業、コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	今を生きるアイヌの人々が誇りを持って地域で暮らし、先人が繋いでくれた貴重なアイヌの伝統や文化を次世代へと引き継いでいくために、アイヌの人々の参画のもと、人材育成や理解促進に必要な活動を永続的に行っていくことのできる環境を創り出すことを目的とする。
4 事業の概要	<p>(1) 文化振興事業 アイヌ文化伝承活動支援事業（アイヌ文化・生活の再生事業） ○事業実施主体 新ひだか町 ○事業の実施場所 新ひだか町内一円 ○事業実施期間 令和3年4月～令和4年3月 ○事業の内容と考え方 アイヌの伝統的生活空間（イオル）を活用し次の2事業を実施する。</p> <p>(A) 空間活用事業 真歌地区を中心に、新ひだか町で伝承されてきた古式舞踊などを一般町民に紹介し、アイヌ文化に触れる機会をつくり、アイヌ文化への理解促進を図る。</p> <p>(B) 体験交流事業 アイヌ民族の自然との一体となった暮らしや自然に根ざした伝統文化について、児童・生徒及び町民を対象に体験学習を通じて、アイヌ民族の伝統や文化に対する理解を促進し、自然環境の共生を循環社会の創造について学ぶことを目的とし、各種体験交流事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的サケ漁の儀式再現体験 ・アイヌ刺繍講座 ・伝統的アイヌ料理の実習体験 <p>(3) コミュニティ活動支援事業 ①アイヌ文化拠点空間整備事業 ○事業実施主体 新ひだか町 ○事業の実施場所 真歌公園（新ひだか町静内真歌） ○事業実施期間 令和3年4月～令和4年3月 ○事業の内容と考え方 アイヌの英傑シャクシャイン像が配置されている真歌エリアに、アイヌ文化の拠点として体験交流施設を設置するとともに、その周辺を新ひだか地区におけるアイヌ文化の拠点空間に整備し、更に当該エリア内において伝統的な踊りや儀式などを披露することのできる環境も併せて整備する。令和3年度はアイヌ文化拠点空間施設整備のための実施設計業務を実施し、エリア内にあるシベチャリチャシ跡の環境整備を併せて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化拠点空間施設実施設計業務 ・シベチャリチャシ跡環境整備 <p>②生活館改修・整備事業 ○事業実施主体 新ひだか町 ○事業の実施場所 新ひだか町静内川合・西川地区 ○事業実施期間 令和3年4月～令和4年3月 ○事業の内容と考え方</p>

4 事業の概要	<p>老朽化が著しく、利用者の高齢化にも対応できていない既存の施設を、人口減少を見据えた適切な数へ集約し整備することにより、高齢者を含めた地域交流の場の確保と、アイヌ文化活動をする場としての利用促進を図る。令和3年度については、隣接地区にある老朽化した2つの生活館（川合生活館、西川生活館）を解体し、新たに統合した生活館を新設し、生活館の集約化を図るため、新設施設の実施設計を実施する。</p> <p>【解体施設】川合生活館、西川生活館 【新設施設】（仮称）川合西川生活館</p>
5 アイヌ施策推進地域計画における記載	<p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業 ■アイヌ文化伝承活動支援事業・・・アイヌの人々による自発的な文化伝承活動（伝統的儀式や古式舞踊等の伝承など）を映像や音声の保存や伝統的家屋（チセ）の改修により支援することにより、当該活動の継続的に実施される状況を作る。</p> <p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業 ■アイヌ文化・生活の再生事業・・・アイヌの伝統的生活空間（イオル）を活用した文化歴史講座の実施によるアイヌ文化の普及、アイヌの伝統的文化活動を行う際に必要となるオオウバユリやセンキュウなど自然素材の栽培・育成の再現を行うとともに、児童・生徒及び町民を対象とした自然素材の収穫や料理教室の実施などアイヌ文化等の体験交流事業を実施する。</p> <p>4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業 ■アイヌ文化拠点空間整備事業・・・アイヌ文化の保存・伝承に向けた人材育成活動や人的交流イベントなどの拠点として、既存のアイヌ民俗資料館を多機能型交流施設として改築するとともにアイヌの伝統的な家屋（チセ）なども併設し、空間全体を整備する。</p> <p>■生活館改修・整備事業・・・アイヌの人々の高齢化に伴う身体的な変化や人口減少等による近所付き合いの希薄化、加えて施設・備品の老朽化問題などに対応すべく、既存の生活館の集約化を図りながら、高齢者や障がい者にも配慮した新たなコミュニティ施設を整備する。</p>
6 事業の成果目標等	
(1) 成果目標の達成に向けた工程	<p>(1) 文化振興事業 アイヌ文化伝承活動支援事業（アイヌ文化・生活の再生事業） 現在も実施しているアイヌの伝統的生活空間（イオル）再生事業は、後世に引き継いで行くために、継続的に実施することが必要と考えられる。</p> <p>(3) コミュニティ活動支援事業 ①アイヌ文化拠点空間整備事業 アイヌ文化の拠点空間を整備することにより、地域内外からの人の流れを作りだし、その効果を地域経済の活性化などへと波及させることにより、地域全体の振興が図れる。</p> <p>②生活館改修・整備事業 新たに川合西川生活館（仮）を改修・整備をすることにより、施設の老朽化問題だけではなく、高齢者や障がい者にも配慮した施設となることにより、各施設におけるアイヌ文化の伝承活動や、地域内のコミュニティ活動が活発に行われる環境が整備されると考えられる。</p>

<p>(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)</p>	<p>(1) 文化振興事業 (現状値) 伝統的家屋(チセ)活用件数 4件/年間 体験交流事業参加人数 150人/年間 (最終目標) 伝統的家屋(チセ)活用件数 8件/年間 体験交流事業参加人数 190人/年間</p> <p>(3) コミュニティ活動支援事業 (現状値) 生活館利用者数 8,469人 (最終目標) 生活館利用者数 9,700人</p> <p>※現状値は令和元年度の実績とし、最終目標は令和5年度に達成する見込みである。</p>
<p>(3)成果目標の確認方法</p>	<p>伝統的家屋(チセ)活用件数、体験交流事業の参加人数、生活館の利用者数にて確認する。</p>
<p>7 地域の概要</p>	
<p>(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題</p>	<p>新ひだか町(旧静内)は、アイヌ民族の中でも主として静内以東などに居住していた「メナシクル」と、胆振から日高北部に居住していた「シュムクル」との境界の地であり、アイヌの歴史の中で特に重要とされる「シャクシャインの戦い」に関わる遺跡など、未解明の部分の多いアイヌ文化の解明のために必要な歴史に裏付けされた貴重な調査・研究資料が多く残されている。</p> <p>現在でも、「シャクシャインの戦い」で松前藩によって謀殺されたシャクシャインの霊を慰める法要祭が、道内はもとより全国各地のアイヌの人々によって古式に則り厳かに執り行われている地域であり、シャクシャイン像の建つ真歌の丘は、アイヌの人々の心の拠りどころとなっている。</p> <p>特徴的な面としては、アイヌの人々の自立意識が非常に高い地域であり、アイヌ文化などを観光化することなく、それぞれの生活、家庭の中で脈々とアイヌ文化を受け継いできた地域でもある。</p> <p>これまで町では、アイヌ協会などの関係団体と連携しながら、貴重なアイヌ文化を保存、継承するための事業を展開してきたが、「伝承者」の高齢化と担い手の不足などによって、アイヌ文化の伝承活動は危機的な状況にある。</p> <p>また、当町におけるアイヌ文化は決して町民に普及しているとはいえない状況にあり、アイヌ文化を肌で感じることのできる機会を継続的に作っていくとともに、ここで暮らす住民が、日常的に、かつ、違和感なくアイヌ文化を受け入れることのできる環境整備が急務と認識している。</p>
<p>(2)施設等の管理運営体制</p>	<p>アイヌ民俗資料館、新ひだか町博物館及びシャクシャイン記念館は新ひだか町が管理している。</p>
<p>(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制</p>	<p>町内にあるアイヌ関係団体等と定期的に意見交換を行っている。</p>

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (前年度精算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	43,936,800	76,420,000		32,483,200
市町村負担額	10,984,200	19,105,000		8,120,800
計	54,921,000	95,525,000	0	40,604,000

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (前年度精算額)	比較増減	
			増	減
文化振興事業 (アイヌ文化・生活の再生事業)	1,527,000	1,177,000	353,000	3,000
旅費	8,000	11,000		3,000
消耗品費	46,000	39,000	7,000	
通信運搬費	20,000	20,000	0	
委託料	1,295,000	1,067,000	228,000	
複写機使用料	158,000	40,000	118,000	
地域・産業振興事業	0	8,910,000	0	8,910,000
コミュニティ活動支援事業 (拠点空間整備事業)	53,394,000	85,438,000	46,585,000	78,629,000
委託料(実施設計)	36,850,000	0	36,850,000	
工事請負費(チャン跡環境整備)	9,735,000	0	9,735,000	
(生活館改修・整備事業)				
需用費	0	1,200,000		1,200,000
委託料	6,809,000	9,988,000		3,179,000
工事請負費(改修)	0	64,581,000		64,581,000
工事請負費(解体)	0	7,469,000		7,469,000
備品購入費	0	2,200,000		2,200,000
計	54,921,000	95,525,000	46,938,000	87,542,000